

平成26年岩見沢市議会第2回定例会 一般質問発言通告

1. 大坂龍起議員(所要時間40分)

- 1 過年度実績を踏まえた、除排雪費の予算計上を行っていることと思うが、今後の取り組みについて
- 2 新処分場供用開始に向けて、現在の処分場の状況と正しいごみ分別を市民全体で成し遂げようとする意識改革を図るための具体策の推進について
- 3 岩見沢市における社会動態増対策の具体的推進について
- 4 岩見沢市の各種教育関連の協議会及び運営委員会等において、子どもの立場に立った論議をすべきと考えるが

2. 古石英仁議員(所要時間50分)

- 1 駒澤大学附属岩見沢高等学校跡地について
 - (1) 駒澤大学附属岩見沢高等学校跡地についての岩見沢市の方針
- 2 公共施設の統廃合について
 - (1) 老朽化した施設の解体について
- 3 岩見沢市における企業誘致施策について
 - (1) 岩見沢市の工業団地等の動向について
- 4 市内工業団地における太陽光発電所事業計画について
 - (1) 太陽光発電事業の状況について
- 5 交通弱者に対する交通手段の確保について
 - (1) 交通弱者に対する交通手段の確保と北村、美流渡、万字、幌向地域での公共交通について
- 6 北村遊水地について
 - (1) 現在の移転補償の状況と今後の見通しについて
 - (2) 市保有物件の状況と持ち主不明の物件の解決方法について
- 7 認知症サポーター養成講座について
 - (1) 市職員の受講状況等と今後の期待される効果について
 - (2) 民間企業を対象とした養成講座について
 - (3) 認知症サポーターを市民に広める方策とその数値目標について
- 8 高齢者の雇用確保について

- (1) 老後の経済的、生活不安から65歳以降も働きたいと思われている市民の期待について
- 9 町会加入促進に対する行政としての考え方
- 10 今後ますます進展する少子化を踏まえた、小・中学校の改築と耐震改修等について
 - (1) 学校の改築や耐震化の状況について
 - (2) 今後の児童生徒数を視野に入れた学校の改築や耐震化について
- 11 放課後児童クラブ体制について

3. 田中和宏議員(所要時間25分)

- 1 観光振興について
 - (1) 観光振興ビジョンキックオフプロジェクトの成果と今後について
 - ① キックオフプロジェクトの成果について、3年間のキックオフプロジェクトを終え、実行委員会のあり方含め、その成果や課題などをどのようにとらえているか
 - ② 今後の進め方について、成果や課題を踏まえ、今後どのように推進していくのか
 - (2) 観光推進体制の強化について
 - ① 映画の公開やサイクルツーリズムなど新たな展開を迎える中、関係各団体の連携や人材育成など、どのように推進していくのか
- 2 駒澤大学附属岩見沢高等学校跡地に関する考え方について
 - (1) 跡地利活用の考えについて
 - ① 跡地利用の具体的な構想について、現時点における市長の考えは
 - (2) 公共施設マネジメントとの整合性について
 - ① 一方で厳しい財政状況を踏まえ公共施設の総合的管理計画の策定を進めているが、この計画策定の目的との整合性について、どのように考えているか
- 3 移住定住促進事業について
 - (1) 先行する他都市の例に対する所見について
 - ① 移住・定住対策に力を入れる他都市の状況に対する見解は
 - (2) 具体的な移住定住促進策について
 - ① 民間との連携や他都市との差別化、主なターゲット、定住に結び付ける方策など、市長の考えは

4. 酒井和子議員(所要時間30分)

- 1 健康について
 - (1) 胃がんリスク検診導入について
 - (2) がん教育の現状と今後の取り組みについて
- 2 東京五輪・パラリンピック向け合宿誘致について
 - (1) 合宿誘致の可能性について
- 3 青少年の「インターネット依存」対策について
 - (1) 当市における現状は
 - (2) 未来を担う若年層に対して適切な対策が必要。よって今後の「依存」増加傾向を防止するための対策について

5. 谷口洋一議員(所要時間50分)

- 1 教育改革について
 - (1) 教育分権の視点から、教育改革の概念について
 - ① 地方分権時代を迎え、教育分権改革を積極的に進めなければならない。「岩見沢の教育づくり」それに伴う特色ある人づくり、学校づくりを教育分権の視点から、教育改革の概念を伺う
- 2 教育委員会制度の改革について
 - (1) 市教育委員会としての今日までの反省、教訓の検証の必要性について
 - ① 教育委員会制度の改革を進めるに当たって、市教育委員会が主体的に今日までの反省、教訓の検証が必要と思うがその見解を伺う
- 3 いじめ問題について
 - (1) いじめ問題の背景は何か、その分析の指針づくりと対策について
 - ① いじめに関し、現代社会における子どもたちの心のあり方が問われている。精神的にも肉体的にも健全な子どもたちを育てる教育が大切。その背景の分析を論議過程と整理された指針があれば、その取り扱いについて伺う
 - (2) 道徳の教科化による効果等について
 - ① いじめ対策として政府は、道徳の教科化を進めているが現在、文科省が作成した「心のノート」または「私たちの道徳」が使用されているが、その効果は。また、教科化によってどのような変化をもたらすのか、さらに、いじめ防止対策に連動していくのか、その見

解を伺いたい

4 おもてなし教育について

(1) 道教委が今年度から始めた「おもてなし教育」について、希望する小中学校の実施としているが、その評価と取り扱いについて

- ① この教育は思いやりと郷土愛を目的としている。いじめ防止対策にもリンクする。また、岩見沢市の観光振興ビジョンのコンセプトもおもてなしの心が柱となっている。その評価と取り扱いについて伺う

5 学校給食を教育の一環としてとらえた取り組みについて

(1) 学校給食の意義、目標等の啓蒙など、どのように取り組んできたのか

- ① 学習指導要領では、学校給食は教育の一環としている。その意義、目標等を子供たち、保護者に啓蒙等、実践面でどのように取り組んできたのか伺う

6 教科書検定と採択について

(1) 北方領土について

- ① 記述されている教科書は、どのような表現になっているのか。また、表現が不十分な場合、統一した補強策はあるのか
- ② 記述されている教科書は使用されているのか
- ③ 今回の学習指導要領の解説書の改訂によって、記述に変化があったのか

(2) 教科書の採択について

- ① 道教委と市教委の選定における、それぞれの役割とどのような手順で行っているのか。また、選定における組織と人事について
- ② 採択に当たって、地方教育行政法と教科書無償措置法と2つの法律がある。矛盾はないのか。また、2つの法律が存在する理由について

6. 堀 孝行 議員 (所要時間40分)

1 ごみ減量化対策について

(1) ごみ減量化計画と達成度合いについて

- ① 現時点での評価・分析と今後の見込み

(2) 新しいごみ処理方式スタートまでの取り組み内容について

- ① 市民、事業者、市が取り組む具体的な内容

2 公共用地先行取得について

(1) 公共用地先行取得の基本的な考え方

① 先行取得の基準、市民周知、先行取得時の事務の流れ

(2) 駒澤大学附属岩見沢高等学校跡地について

① 取得後の活用計画

7. 平野義文議員(所要時間40分)

1 岩見沢市まちなか活性化計画について

(1) 現在の課題並びに今後の見通しについて

① 今年度よりビジョン編として10年間、プラン編として5年間を計画期間として策定されたが、より実効性のあるものへと昇華するために現在課題としてとらえていること、並びに今後の見通しについて伺う

(2) 前向きな計画推進に向けた仕組みづくりについて

① 関係各位並びに市民との合意形成や課題共有に向けた体制の構築について伺う

2 克雪に向けた取り組みについて

(1) ボランティア活動の推進について

① 豪雪に伴う地域課題を解決するに当たり、今後ますます重要な位置づけとなると思われるボランティア活動推進のための体制づくりについて伺う

(2) 補助制度について

① 市民の安全を確保し、快適な冬生活を過ごすための補助制度の推進について伺う

3 豊かな人間性を育む教育について

(1) 平成26年度版子ども・若者白書の特集等から見る教育課題について

① 時代背景並びに社会情勢から、今後ますます必要とされる教育についての考え方を伺う

8. 齊須正友議員(所要時間20分)

1 ふるさと納税について

- (1) ふるさと納税の現状
 - ① 本市のふるさと納税の内容とその件数の推移について
- (2) さらなる促進に向けて
 - ① 市場に流通していない隠れた商品の価値を高める手段として活用するなどの工夫が必要と思いますが
- 2 地域包括ケアシステムについて
 - (1) 地域包括ケアシステムを構築する上での諸課題
 - ① 本市における諸課題はどのようなことがあげられますか
 - (2) 医療と介護の連携
 - ① 医療が旗振り役として介護との連携を進めることが重要と考えますが、どのように取り組んでいきますか
 - (3) 元気な高齢者の社会参加、活躍の場づくり
 - ① 社会参加型の高齢者をどのように育成していこうと考えていますか
 - ② さらにさまざまな生活支援の担い手となる高齢者をコーディネートする仕組みが必要と思いますが、いかがでしょうか
 - (4) 地域包括支援にかかわる人材育成について
 - ① 在宅支援、認知症対策などに携わる人材が少ないと言われておりますが、どのように人材育成に取り組んでいけますか
 - ② これからが、非常に大事な時期となりますのでシステム構築を支える職員が腰を据えて取り組めるよう環境の整備を要望します
- 3 読書について
 - (1) 読書活動の推進
 - ① 子どもに限らず大人の人たちへの読書推進についての取り組みについて
 - (2) 新聞活用教育
 - ① 新聞活用教育に取り組み学習意欲の向上、活字離れの解決策を図るべきと考えますがいかがでしょうか
 - (3) 読書通帳の導入
 - ① 読書推進の効果が顕著に表れる方法として読書通帳の導入を提案します

9. 峯 泰 教 議員 (所要時間30分)

- 1 補助金について
 - (1) 補助金における公益の考え方について

- ① 補助金に対する考え方を問うものです
- (2) 補助金の効果と検証について
 - ① 補助金拠出に対する期待する効果とその検証について
- 2 岩見沢緑陵高校について
 - (1) 岩見沢緑陵高校に対する現状認識について
 - ① 岩見沢緑陵高校を取り巻く環境と現状認識を問うものです
 - (2) 岩見沢市が高校を持つ意義について
 - ① 高等学校の間口減少が議論される中、岩見沢市が高校を持つ意義について問うものです
 - (3) 市立高校としての可能性について
 - ① 今後の展望を問うものです

10. 山田靖廣議員(所要時間20分)

- 1 子どもの医療費助成制度の拡充と無料化について
 - (1) 中学校卒業までの医療費助成についての考えについて
 - ① 中学校卒業までの拡充に対する市長の考えについて
 - ② 国や北海道への財政措置を要望することへの考えについて
 - ③ 平成25年度の小学生の医療費助成の実績について
 - ④ 中学校卒業まで拡充したときの予算等について
- 2 老朽化危険空き家対策について
 - (1) 岩見沢市空き家等の適正な管理に関する条例について
 - ① 条例制定に至る経過について
 - ② 危険な空き家などの把握と所有者との連絡について
 - ③ 警察署、消防署などとの情報共有について
 - (2) 空き屋等の取り壊しに伴う税の減免と費用助成について
 - ① 固定資産税の一定年数の減免制度について
 - ② 取り壊しに伴う費用の助成について
- 3 新ごみ処理施設に向けての市民説明会について
 - (1) 市民説明会について
 - ① 規模や回数などの全体像について
 - ② 市職員の果たす役割について
 - ③ 町内会未加入・マンション住民に対する対応について
 - (2) ごみ分別辞典について
 - ① 市民の意見や要望を反映することについて

11. 上田久司議員(所要時間30分)

1 政府の進める農政「改革」について

(1) 規制改革会議農業作業部会の「農業改革に関する意見」について

- ① 農業委員会制度の見直しについて
- ② 農業生産法人の見直しについて
- ③ 農業協同組合の見直しについて

(2) 基幹産業の農業を守る取り組みについて

2 教育委員会制度について

(1) 国の制度改訂をどう見ているか

- ① 市長としての権限が強まるが、市長にお伺いします
- ② 教育委員長がなくなるが、教育委員長としてどう考えるか
- ③ 教育長として、今回の改訂(改悪)をどう見るか

(2) 現在の教育委員会での議論について

- ① 事務方主導でなく活発な議論がされているか

(3) 子どものための教育委員会にすべきでは

- ① 今回の制度改悪に反対し、国にしっかり働きかけること
- ② 子どもの立場に立った教育委員会になるよう更なる取り組みを

3 子ども子育て支援新制度について

(1) 新制度で何が変わり、何が変わらないか

- ① 保育園、幼稚園は具体的にどういう動きをしているか
- ② 行政のかかわりはどうなるのか

(2) 進捗状況と今後のスケジュールについて

- ① 条例制定は9月か。現在どのように取り組まれているか。条例として提出するものと要綱などにするものの分類はされているか
- ② 保育料も条例として設定すべきではないか

(3) 保育内容等について

- ① 保育の必要量が定められることから、一貫した保育が出来にくくなるのではないか
- ② 保育の必要性については、障がいを持っていることで認めるべきで、育児休業中についても配慮すべき

(4) 学童保育について

4 選挙公報の発行について

(1) 次の市議会議員選挙から選挙公報を発行すべき

- ① 現在議会改革も進められ、議員の活動を市民に知ってもらう取り組みがなされている。議員の公約である政策を知ってもらうことは必要であり、公報の発行は急がれるのではないか

12. 池島 和行 議員 (所要時間40分)

- 1 市民を守る除排雪体制は今後持続するのか
 - (1) 住宅街の除雪について
 - ① 委託業者が減っているがなぜか
 - (2) 住宅街の業務設計書と稼働報告書の作業時間の差異について
 - ① 実態に合った積算に見直す考えは
- 2 防犯カメラについて
 - (1) 最近の事故や事件で活用されている防犯カメラについて
 - ① 国の補助事業などを活用したカメラの設置について考えは
- 3 東京オリンピック・パラリンピックについて
 - (1) 合宿地等の誘致について
 - ① 世界に岩見沢を発信するチャンスと考えるが、誘致活動に取り組む考えは
 - (2) 子どもたちが一流のアスリートを自分の目で見ることについて
 - ① 子どもたちの夢につながるチャンスを大人がかかわる考えは
- 4 子どもたちへのサイバーパトロールについて
 - (1) 子どもたちのインターネット上での書き込み等の調査について
 - ① 現在どのような取り組みをしているのか
 - (2) 現在までの事故や事件について
 - ① 子どもたちが巻き込まれそうになったり、巻き込まれたことはあるのか
 - (3) 子どもたちにどのように指導しているのか
 - ① 子どもたちを犯罪などから守るためと、うまく伝えられているか
- 5 ブックスタートについて
 - (1) 事業を一年経過して
 - ① かかわったスタッフの実感は
 - (2) ベビカフェや読み聞かせなどとの連携について
 - ① 効果と今後の取り組みについて